鳥取県総合型地域スポーツクラブ情報誌

クラブインフォメーション

発行：（公財）鳥取県スポーツ協会　〒680-8570　鳥取市東町1丁目220番地　鳥取県議会棟別館内
TEL：0857-26-7802　FAX：0857-26-8133　E-mail：tabuchi-h@sports-tottori.com
令和3年3月　第139号

生涯スポーツ・体力つくり全国会議2021

令和3年2月5日（金）、群馬県で開催予定だった「生涯スポーツ・体力つくり全国大会」が、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインで開催されました。

今年度のテーマは「スポーツの力～新しい生活様式におけるスポーツ」で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、活動自粛が余儀なくされる中、安全な環境下で生活の中にスポーツを取り込み、再び活力と潤いのある豊かな生活を取り戻すために、新しい生活様式におけるスポーツ推進方策について情報提供がありました。

【参加者】地方公共団体関係者、スポーツ・レクリエーション団体関係者、各種産業界関係者、学識経験者、その他関係者

【会議内容】

（1）基調講演：「今だからこそ、新しい生活様式におけるスポーツの力を皆に届けよう！」
講　師：室伏　広治（スポーツ庁長官）
内　容：新しい生活様式において、「スポーツの力」を国民一人一人に届けるために地域社会で何ができるか、何をするべきか、スポーツ庁の取り組みを紹介。
大阪府門真市の医療と連携した取り組みの事例紹介。

（2）セッション1：「新たな生活様式における成人女性のスポーツ参加に向けて」
講　師：上地　広昭（山口大学教育学部准教授）
内　容：女性がスポーツを実施するにあたり、行動変容の立場から話された。

（3）ショートレクチャー：「新しい生活様式における身体活動の重要性と増加対策」
講　師：山口　泰雄（流通大学特任教授/神戸大学名誉教授）
内　容：身体活動の意義と、国際的動向の報告があった。

（4）セッション2：「新しい生活様式におけるスポーツ」の実践
講　師：平岩　時雄（平岩スポーツコンサルタント代表）
原　秀光（公益財団法人日本レクリエーション協会事業部係長）
内　容：スポーツ推進委員やスポーツ振興を担う人たちが、新しい生活様式の下で自らの活動に役立てることができるプログラムや、ICTの活用など三密を避けながら「いつでも・どこでも・誰とでも・いつまでも」できるプログラムの紹介。

（5）セッション3：「Withコロナ時代における障がい者のスポーツ活動～情報共有と連携の重要性～」
講　師：田川　豪太（障害者スポーツ文化センター横浜ラポール）
内　容：スポーツ活動がほぼ停止した状態から再開し、現在に至るまでの障がい者スポーツの現状と行政や関係団体との情報共有及び連携方法について紹介。

今回の会議では、新しい生活様式における女性のスポーツ参加・実践、障がい者のスポーツ活動、身体活動の重要性等、今日の社会環境でのスポーツ活動に大きなヒントを得ることができました。

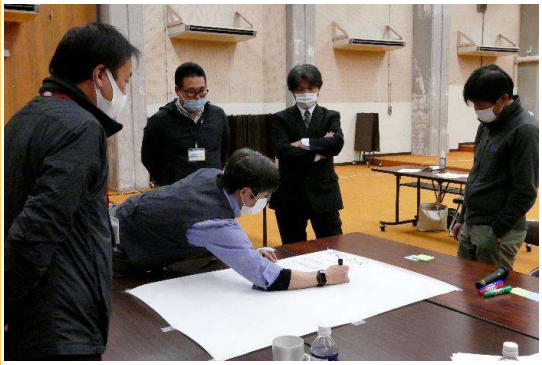
新型コロナウイルスが終息し、次回は沖縄県で開催できることを願います。

総合型地域スポーツクラブ指導者派遣事業研修会　in　スポねっとちづ

研修会風景

地域部活動の課題について話合う

課題をカテゴリー分けする



こうなりたいに対して何ができるかまとめる

令和3年2月21日（日）、智頭町総合センターでリモートによる「総合型地域スポーツクラブ指導者派遣事業研修会」を開催しました。

講　師：松田　雅彦氏
（大阪教育大学附属高等学校平野校舎　教諭）
参加者：スポねっとちづ役員、智頭町スポーツ推進委員、部活動指導員、地域で部活動に代わり得る質の高い活動の機会を確保できる計画検討組織メンバー（智頭中学校長、運動部活動外部指導者、智頭町教育委員会教育課課長・参事兼指導主事・学校教育担当・社会教育担当）の12名

【内　　容】
〈午前の部〉
・クラブの現状を聞き取り
・大阪教育大学附属高等学校平野校舎の部活動の様子をDVDで視聴
・学校部活動改革について説明
・質問タイム

〈午後の部〉
・講演　　テーマ：「変わる部活動と総合型クラブ」
・グループワーク
「スポねっとちづの未来像（夢）」をクリアするための課題を書き出し、今すぐに取り組めること、時間はかかるが解決しないといけないことを、智頭町の現状を踏まえ、参加者を2グループに分け話し合ってもらいました。

松田先生から、中学校のOB・OG会を作り地域を支える人材を作る。中学校の生徒会を自治会化して生徒に企画・運営させることでクラブに興味を持って関わってもらえるようになったり、将来スポーツ推進委員として関わってもらったり、ゴールイメージを共有して実行してほしい。ステークホルダーは生徒だと思うので生徒の意見を取り入れることだと話されました。
最後に古田理事長から、智頭町の総合力で頑張りたい。国からは、小さい町、小・中学生を支える体制づくりの支援をお願いしたい。本日参加していただいた方々と前向きに検討していき地域部活動問題を解決したいと話されました。

令和5年度問題として学校がやれることは何か、地域でやれることは何かを、地域の部活動に関係する団体で真剣に話し合えたことはとても貴重な時間になったと思います。
県内のモデルクラブとなるよう地域が一体となって進めて行ってもらいたいです。
皆さま、お疲れ様でした。

連絡先
スポねっとちづ事務局
石谷　潤
TEL：0858－75－3113
E-mail：j-ishitani@town.chizu.tottori.jp

総合型地域スポーツクラブ全国協議会（SC全国ネットワーク）総会を開催しました

令和3年2月24日（水）、リモートによるSC全国ネットワーク総会を開催しました。

【内　容】
1　情報提供　　三井住友海上火災保険株式会社から「リスクと損害保険」について
2　議事
（1）令和3年度日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ育成計画（案）について
平成30年に策定・公表した「スポーツ推進方策2018」及び「育成プラン2018」に基づき「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」の基本理念の実現に向け、総合型クラブ登録・認証制度の創設等の取組を推進する。
①　地域スポーツクラブ育成委員会の開催
②　総合型地域スポーツクラブ全国協議会：常任幹事会・総会
③　ブロック別クラブネットワークアクション2021：中国ブロックは広島県で10月23日（土）～24日（日）
④　情報収集・提供体制の整備：メルマガの配信
⑤　総合型地域スポーツクラブ連携支援：令和5年度以降の休日部活動の段階的な地域移行に向けて。生徒や指導者が安心・安全に活動できる環境を整備することを目的に情報共有を行う研修会を開催
⑥　新しい生活様式における地域スポーツ環境の基盤強化（国庫：1億824万円）
（2）SC全国ネットワークの取組について
（令和2年度の取組実績）
①　総合型クラブ登録・認証制度の実施に向けた取組
②　クラブマネジメント人材発掘・育成に向けた取組
（令和3年度取組）
①　総合型クラブ登録制度の創設
②　PDCAサイクルにより運営改善等を図る登録クラブの促進
③　中間支援組織の整備（総合型クラブの質的充実の推進）
④　関係機関・団体との連携体制の構築
⑤　情報収集・提供体制の整備
⑥　クラブマネジメント人材の発掘・育成
⑦　女性部会の設置
⑧　広報活動の充実

（3）総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度諸規程の改定について
・基本規程、登録規程、登録基準細則、登録審査細則、登録認定細則、登録更新審査細則、SCマークの仕様に関する規程、登録クラブ処分細則
→それぞれの規程施行を令和3年4月1日から令和4年4月1日に変更する
（4）令和3年度代表委員及びブロック代表常任幹事について
→役員（幹事長、副幹事長、常任幹事、代表委員）の任期は2年であるが令和4年4月1日から登録・認証制度がスタートすることから令和3年度は1年間とする
3　情報共有プログラム
「中間支援組織の整備に向けた取組について」
（1）中間支援組織の大きな課題は財源と人材
（2）グループディスカッション
9グループに分かれて協議（各県の取組状況、困難な要因、課題解決策など）
4　全体共有
9グループから出た意見を発表
→全体的に前に進んでいる。課題は財源と人材。自分たちのやっていることに自信をもって市町村に認めてもらえるようなクラブづくりが大切。

中間支援組織の整備、総合型クラブの質的向上、市町村の理解等課題はありますが、各県のスポーツ協会にそれぞれの総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が組織され、令和5年度からスタートする地域部活動も視野に入れ取り組んでいけたらと思います。

県民まるごとスポーツ「親子deスポーツ」推進事業（県委託事業）

NPO法人ウルトラスポーツクラブ＊親子サッカー教室

尻相撲

手をつないでドルブル練習

子どもVS子ども

親子VS親子

親VS子ども

「令和3年2月14日（日）、中浜サントピア（境港市）で「県民まるごとスポーツ推進事業」※（県委託事業）で「親子サッカー教室」を開催しました。

※子育て世代の県民が、身近な地域において子どもと一緒に運動・スポーツを親しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進することを目的とする。

【指導者】金坂　博さん、小原洋司さん、石倉広三さん
【参加者】大人24名、子ども24名

【指導内容】
・親子でストレッチ
・子どもが抱っこされた状態で親の体を一回りする。
・手・尻相撲
・ボールキャッチ（キャッチするまでに手を叩く回数を増やしていく）
・開いた足の間をボールを蹴って通す。
・ボールを止めて蹴る練習（左右両方、慣れてきたら距離を離して）
・親子で手をつないでドルブル
・シュート練習
・4 つのグループに分け、親子で手をつないでゲーム
・ゲーム（子どもVS子ども）
・ゲーム（子どもVS子ども）
・ゲーム（親VS子ども）
・ストレッチ

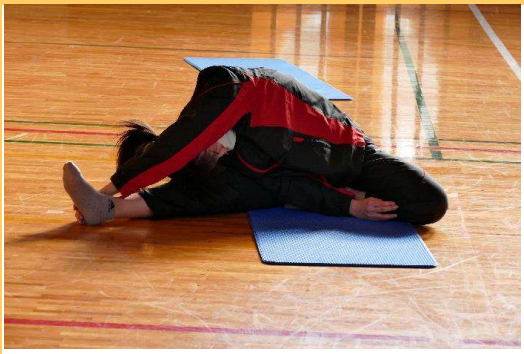
今回は天候に恵まれ、気持ちよく体を動かすことができました。また、たくさんの方に参加していただき大変盛り上がりました。
また機会があれば参加していただけると嬉しいです。

【参加者の声】
・子どもが小さい間は体を動かす機会がなかなか作れないですが、こういう機会があると親子で参加しやすいです。
・親子で体を動かす機会があれば積極的に参加したいと思います。

連絡先
NPO法人ウルトラスポーツクラブ事務局
金坂　博
TEL：0859－57－5170
E-mail：ultra-cs@sea.chukai.ne.jp

県民まるごとスポーツ「みんなdeユニスポ」推進事業（県委託事業）

琴の浦クラブ＊みんなdeニュースポーツin琴の浦



体　柔らか～！

ダッシュ！

レイアップシュート：バスケットボール

高跳び

令和3年2月20日（土）、琴の浦高等特別支援学校体育館で「県民まるごとスポーツ推進事業」※（県委託事業）で「みんなでニュースポーツin琴の浦」を開催しました。
※年齢・性別・障がいの有無に関わらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進することを目的とする。

【指導者】 上田祐吉先生
【参加者】 8名

【活動内容】
・12分間ランニング又はウォーク
・ストレッチ
・腿上げ股関節回し
・スキップ（ノーマル・あげる足に意識して・下ろす時に意識して・あげる時下げる時両方に意識して切換えを素早く）
・サイドステップ（腕を回しながら）
・クロスステップ
・片足ケンケン
・両足跳び（真上に跳ぶイメージと前に跳ぶイメージで跳ぶ）
・ダッシュ
・個別メニュー（高跳び・バスケット・50m走）
・クールダウン

体育館を斜めに使った50m走では、スポーツタイマーを使用し、5分おきにアラームが鳴るようセットし効率よく行いました。
スポーツタイマーのそんな使い方があることを知り勉強になりました。
50m走の後は、バスケットボールのレイアップシュートを連続10本決めることを目標に頑張る人。走り高跳びで助走から踏切までの距離を確認し、踏み切る際に上に高く跳ぶイメージを掴む練習をする人、メディシングボールで筋力を鍛える人等個々で練習の仕方を考えて練習しました。
この事業はスポーツをすることはもちろんですが、コミュニケーションの場としての役割を担っていることを実感します。
これから段々と暖かくなり出やすくなるので、たくさんの人に参加してもらえると嬉しいですね。

連絡先
琴の浦クラブ事務局
上田　祐吉
TEL：0858－55－6477
E-mail：ueda_yk@mailk.torikyo.ed.jp

県民まるごとスポーツ「親子deスポーツ」推進事業（県委託事業）

一般社団法人ほうきスマイリースポーツクラブ＊親子で楽しい運動遊び

ビート版とリングの上をジャンプ

バランスボールを転がしてドッジボール

バランスボールにおなかを乗せる

令和3年2月27日（土）、伯耆町総合スポーツ公園2階体育館で「県民まるごとスポーツ推進事業」※（県委託事業）で「親子で楽しい運動遊び」を開催しました。
※子育て世代の県民が、身近な地域において子どもと一緒に運動・スポーツに親しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進することを目的とする。

【指導者】　友田真由美さん（当クラブ理事）　　【参加者】 大人　7名、子ども　8名

【内　容】
- ・ウォーミングアップ
- ・お尻、太もも、腹筋をポンポン叩く
- ・ランジの姿勢で 10 秒キープ
- ・胸の高さまで足踏み
- ・走る（笛が 1 回鳴ったら歩く、2回鳴ったら走る、3回鳴ったらスキップ）
- ・ビート版とリングの上を走る・ジャンプ
- ・バランスボールでドッジボール（ボールの数を増やしていく）
- ・バランスボールの上に座ってジャンプ・左右前後に揺れる、おなかを乗せて手や顔を床に近づける。

カエル跳び

手押し車

しっかりしがみつく子ども

【内　容】
- ・カエル跳び。
- ・手押し車
- ・子どもを背中に乗せて四つん這いで歩く。
- ・手足伸ばしてマットの上を転がる。

逆立ち、皆上手！

飛行機！

集合写真

【内　　容】　・ハイハイの状態から壁に足をつけて徐々に上げていき逆立ち状態をキープ
・子どもの背中をタップ・腕を優しくさする。
・立木のポーズ（片足立ち）で10秒キープ
・飛行機（片足立ちで手を広げ状態を前に倒す）のポーズ
・座って足裏合わせ太ももを上下させる。
・座って足裏合わせダルマみたいに横に揺れる・1回転。
・子どもの後ろに立ち、子どもの脇に手を通し、足を持って立ち上がりブランコ
・親が仰向けになり、脛に子どものおなかを乗せ、子どもが両手を開いて飛行機、足裏で子どもの股関節に足裏を置き、手を伸ばして飛行機
・ストレッチ

【参加者の声】・思いっきり体を動かすことができるので嬉しい。
・寒い時は特に体を動かしにくいので、定期的（月2回程度）に開催してもらえると嬉しい。
・子どもとしっかり向き合ってあげることができるので、また企画してほしい。

昨年に続き参加していただいた方も多く、とても満足していただけていると感じます。色々な遊びを通して楽しく体を動かすことで運動が好きになってもらえるといいですね。

連絡先
一般社団法人ほうきスマイリースポーツクラブ事務局
瀧田　祐吉
TEL：0859－68－3775
E-mail：h.smiley.sports@gmail.com